

萎びてしまつた果実のような、薔薇の花束のような、心象風景に、小刀で裂け目を入れる。甦る、長い時間と距離を透視する。反転させつつ、交叉させつつ、焦らずに、急がずに呼び戻す。

壁面に整然と並ぶ、額に入れられた絵がある。一つの絵を見る。

義妹が忘れ物をしたので、名倉小学校へとどけに行く。あの頃は、名倉の辺りは、田園都市で、田畠の畦道を歩きながら、長閑な気分で、作物を見たり、小川を泳ぐ小魚を手で掬つたり、虫や蝶の飛ぶのを眺めたりして、名倉小学校に着く。校門を入って、教室を探すのに、校舎を見渡していると、蒲鉾型校舎から、ぼつんと離れたところに建っている、木造の平屋建の教室の扉が開いて、痩せた長身の若いエキゾチックな風貌の先生が出て来られた。若い先生は、少し足を引き摺るようにして校庭を歩いて、近付いて来られた。

先生が笑顔で会釈をされた。その時、義妹が校舎から飛び出して来た。

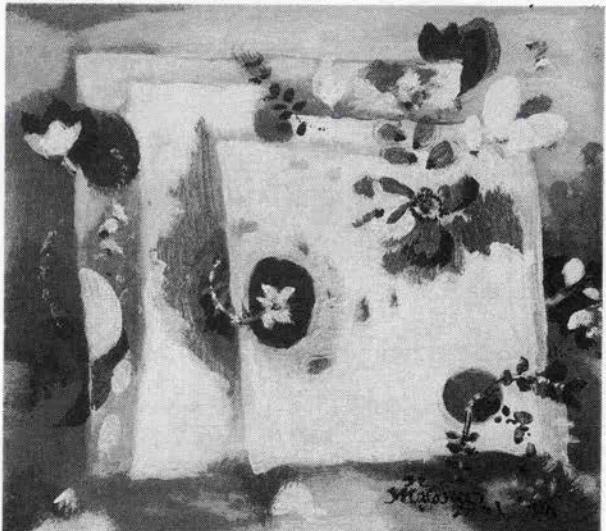
「図工の貝原先生……」

と義妹がいった。

「いつも、妹が世話になりまして、ありがとうございます」というと、

「私は、御主人と同じグループにいます」といわれて、校門から出て行かれた。

あの時の、校庭の、貝原六一先生は、真昼の太陽の照り返す中で、優しいイメージがあつた。それは、貝原六一先生の、悲しげに佇む人物画と重なつて、今も、目の中に焼きつけられている。戦地で負傷されて、復員され教職につかれたとのこ



□れんさいエッセイ

△午後の出会い▽④

バベルの塔

丸本 明子△詩人△

絵／中西 勝△画家△

とである。

貝原六一、上西良一、中西勝、神吉定、正延正俊、藤原向意、若林和男、西村功、西村元三郎、高田卓也、品川祐治郎、赤羽恒男、丸本耕の方々が、戦後の神戸で“バベルの会”に参加、結集して、絵画の作家活動をされた。絵画の教職に就かれている方々が中心メンバーのようだつた。

“Babel”バベルの塔、Babylonで天まで築こうとした塔、騒乱の場所、天罰で工人のことばが互いに通じなくなつて完成しなかつた塔のこと、つまり、“Babel”とは意識の中の構築であり、イメージの積み重ねと、崩壊である。

“バベルの会”には、戦後の崩壊の中から、立ち上り、積み上げていこうとする、若かった画家達の熱い思いがあつたのだと思う。神戸の会場で、戦後十年前後に、活発な作家活動の展覧会を開催されたとのこと。

現在も、画壇の第一線で活躍しておられる。

前衛画家集団として、前衛的な作家活動の母体の役目を果して来られたと思う。

長男、出産のために、大阪の里の家に帰つていた。まだ若かった母親は、初孫の出産のこと、産婦の私よりも、落ち着かない様子であった。私も、二十一歳で、あまりにも若かった。出産といつても、どんな事態になるのか、どんなことが起るのかわからなかつた。出産に対する知識は零に近かつた。あの頃は、大抵の出産は、産婆の世話をになつた。

お腹の皮が裂けそになる。母は風呂へ入れといふ。産婆は来たけれど、まだ早いと帰つていく。産むとは、なんと大変なことだと、産みの苦しみ

を体験する。

庭の満開の躑躅の深い紅色の花の色に心を寄せていた。父が建てた家は十五年近く経つていた。庭の木も成長して大きくなつていて。九歳年下の弟の生れた時を思い出していた。その時も、同じ座敷の、同じ場所で新しい命が生れた。私は新しい命が生れるのを待つ。

夫、耕も、新しい命のために、張り切つていて。復員してきて、知人の紹介で就職した運送会社を止めて、六甲駅前で、喫茶店を開店するという。夫は、結婚二年前、シベリア抑留から、舞鶴に復員兵として帰還した。

武藏野美大（旧帝國美術）在学の時、学徒出陣で、博多から、朝鮮、上海へと行ったとのこと。手許に送られて來た本がある。—第十一期甲種幹部候補生の手記—『石門幹候隊』の“まえがき”に笛島恒輔氏が書かれている。

“世間では一般に「学徒出陣」というと、昭和十六年以降の大学、高専の繰り上げ卒業による入隊者と、十八年十一月以降の学生の徴兵猶予の停止による入隊者を指しているが、本来は、昭和十八年九月二十三日の「在学徵集延期臨時特例」によって徴兵猶予停止された陸海軍に入隊した、大正九年四月一日から大正十二年十一月三〇日生まれの約十三万の文科系の学生を言うのである。

学徒出陣者の大半は、陸軍では甲種幹部候補生、海軍では予備学生の課程を経て下級将校となり、多くの者が戦場に散つていつたのであった。
片山敬三氏の“石門からシベリア抑留まで”的手記を読む。この手記によつて、丸本耕の足跡を知ることが出来た。

都市格のある神戸を

吉本 晴彦／株式会社大阪マルビル取締役社長▽ 絵／灘本 唯人

私が神戸との関わりであります思い出すのが、日本青年会議所の近畿地区協議会長として、神戸JC（青年会議所）設立のお手伝いをしたことです。

神戸JC初代理事長となられる秋田博正氏に設立のお願いをしたのですが、神戸は業界の団体が多いなど設立するには厳しい条件下にあり、なかなか引き受け難かったのです。ではメンバーは私が集めますから、ということでやっと重い腰を上げていただき熱心に準備を始めて下さいました。今や神戸JCの活躍ぶりは皆さんご存じの通りです。私は当時、神戸JCと共に尼崎JC、奈良JC設立のお手伝いもしたのですが、神戸の設立に一番苦労しました。それだけにとても思い出深く、今でも歴代の理事長・副理事長の方々と年二回開かれる「楽々会」を通じて楽しくおつき合いさせていただいています。

ところで、私は代々の大阪人で、戦後までは大阪に住んでいましたが、なぜか阪急沿線、特に西宮・神戸間が肌に合うというか居心地が良く、今は東灘区に居を構えています。山と海、澄みきつ

た空気、ハイカラな気分。こんな神戸の街が私に安らぎを感じさせてくれます。ですから、私にとって神戸は、週末・休日時の息抜きの場、家族団欒の場であると言えます。

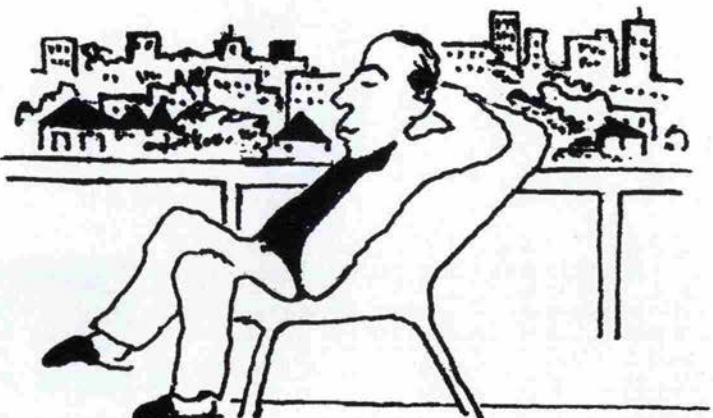
休日にはよく三宮・元町界隈に出かけます。一、二時間かけてブラブラと散歩しながらウインド・ショッピングをしたり、知っている店や関心のある店をのぞいたり、あるいは食事をしたりして楽しんでいるわけです。

ただ最近残念なのは、以前はたくさんあった特色のある店やユニークな店主のいる店が少なくなってきたことです。日曜日でもやっている食事をするお店がなくなってきているということで、とても淋しく思っています。

神戸で好きなものの一つに「神戸まつり」があります。大阪には「御堂筋パレード」がありますが、私は「神戸まつり」のほうが好きなだけでなく、いつも感心させられています。その理由は、この祭りが、自発的に盛りやがってやっているという感じがするからです。みんなで協力してヨイショし

らしい様々な分野で力を発揮していますし、神戸らしさを出そうという意欲・やる気も強く感じられ、前々より羨ましく思ってきました。

それにもしても、このような神戸がどうして出来たのかということを考えてみますと、歴史が浅いとか山や海があるといった、神戸独特の雰囲気の中から生まれてきたものでないかという気がしています。そういう意味では、神戸には、大阪、京都にないものをたくさんもつているといえるのではないでしょうか。



大阪商工会議所の大西会頭が「都市格」の向上ということを提案しましたが、これは魅力ある都市を考える上で大切な視点だと思います。京都、大阪、神戸の三つの都市を比べて見ますと、神戸は経済力や人口の面では劣るものの活力があります。しかし一方で海岸の良さがなくなるなど、大阪にはない自然の資源が失われてきています。都市格というのは市民が考え、創り上げ、向上させていくものですが、神戸には、山や海といった資源も含めた、京都にも大阪にもないもの、神戸独自の都市格を創つてもらいたいと切に願っています。

いずれにしても、大阪で仕事をし、京都で遊び、神戸に住んでいる私は、一般的な関西人の願望を実現させて頂いており、大変な幸せ者だと思っております。



△吉本晴彦氏のプロフィール

大阪のシンボルとなった「大阪マーレビル」のオーナーであり、「大日本どヶチ教」の教祖。大阪商工会議所常議員を始め各種要職を務めるかた

わら、マスコミや講演でも活躍。昨年秋には二冊目の著作となる「どヶチ学」を出版した。

Coffee Break



★'94神戸まつりの実行委員長に杉山力子さんが

'94神戸まつりは、5月13日(金)14日(土)15日(日)、「緑と海そして愛」をテーマに開催される。

今年は実行委員長が妹尾美智子さんから杉山力子さんにバトンタッチされた。杉山さんは神戸市婦人団体協議会理事、垂水区連合婦人会会長として活躍する明るくさわやかなミセス。前任の妹尾さんは17年に



杉山力子さん

わたし実行委員長を務め、まつりを盛り上げてきた。昨年はアーバンリゾートフェア神戸'93の文化事業部会長としての重責も果たした。ご苦労様と、市民から感謝の意を表したい。妹尾さんの後を受けた杉山新委員長の新たなワーマンパワーが頼もしい。

★ドイツの心を伝えていきたい「ドイツの方々から辛抱強

さというものを、学びました」と語る東勝美さんは、1979年、在日ドイツ商工会議所大阪事務所の開設に伴い職員として勤務し、以来15年、片道2時間の通勤時間をものとせず日々勤め、日独の経済交流の促進に努めてきた。その功績に対し、1月24日、総領事館において、ヴァイツェンカーダ統領に代わり、グエル領事より、ドイツ連邦共和国功労勲章功労メダルが授与された。

東さんは同事務所の所長代理として、日常の多種類な業務の他見本市や展示会でのドイツ製品の紹介や販売を企画するなど、その真剣な取り組みはドイツ、日本両国の実業界で高い評価を得てきた。「退職するまでベストをつくし、後輩に託した後も、できるかぎりでドイツの心を伝えていたい」と。子供さん3人育て上げ、お孫さん3人も恵まれる笑顔の美しい女性。



浅川誠二さん

★吉田泰巳さんが兵庫県いけばな協会会長に

田泰巳さんは1月13日付で就任。同協会は現在63流派7千人の組織。各種展覧会、社会事業などを実行している。兵庫県は広いが、県

内全域に活動を拡げ、人の交流を図り、県としての文化の醸成を推し進めたい」と語る。また、「若い層の人数が物理的に減っていく中、いばらもここ4~5年で蓄積がないと、趣味の多様化もあり生き残っていける」と吉田さん。足も計画中で、「情報交換」問題の掘り起こしを進めた今年開催の但馬・理想の都の祭典、JCI世界会議に期待されている。

★浅川誠二選手が地元で世界タイトルに挑む

3月19日、ワールド記念ホールでWBAフェザーグレードチャンピオン、ベネズエラのエロイ・ロハス選手に挑む。

「私の絵は構成の絵であり分割の絵です。心の中に蓄積されたイメージを自分なりの形に画面に構築しますが、心の宇宙の力やひろがりが表現できればと思います。観る人にも風や空気や水や太陽といつた宇宙の根本の暖かさや冷たさを感じてもらえば」と話す前田さん。副賞であるアジアへの美術研修を受け取り、どの国へ行こうと真剣に迷っていた。



吉田泰巳さん

第39回神戸二紀会展の受賞式が2月10日、生田神社社会館で行われ、「アジア・アフリカ・アーティスト賞」には二紀会同人前田美枝さんは輝いた。前田美枝さんは、二紀会の会員で、自分の絵の傾向を始め、自分の絵の傾向の可能性を求めて二紀会描き続ける前田美枝さん。



前田美枝さん

「とにかく試合を見て欲しい」との言葉に闘志がほとばしる。「地元神戸での世界戦が夢でした」と語る浅川選手の健闘を祈りたい。

「とにかく試合を見て欲しい」と吉田さん。



佐本
産科

ママといっしょに



赤ちゃん：川崎 真司くん（平成5年11月11日）

ママ：美香さん

「21世紀に向けてすくすくと元気に育ってくれる様に」

★ 佐本産科・婦人科 ★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15

TEL 078-575-1024(病室) TEL 078-576-9639

市バス上沢4停南スグ

●駐車場完備●

美しい歯並びは、
お口の健康の大切なキーポイント



当院は、歯科矯正の専門医院です。

歯並びが悪いと、口元の美感を損なうだけでなく、虫歯や歯ぐきの病気にかかりやすくなったり、頭痛、肩こり、胃弱を引き起こす原因となることもあります。矯正治療は小中学生の頃に行なうことが多いのですが、大人になってからでも治療は充分可能です。噛み合わせの一部分を治すだけでも、大変良い結果が得られる事が多々あります。これらの方が気になる方は、是非一度ご相談下さい。

◆診療時間

午前10時～12時30分

午後2時～6時30分

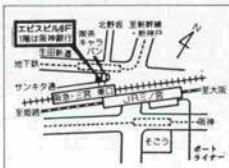
◆休診日

木曜・日曜・祝祭日

TEL・078-332-5735

神戸市中央区北長狭通1-2-2 エビスビル8F

〒650 (阪急三宮駅東口北側出口向い)



吉田矯正歯科クリニック

◆育成医療指定医療機関



市民の手で、神戸に プロサッカーチームを！

明治四年一月、居留地の神戸レガツタ・アンド・アスレチッククラブで、外国人同士のサッカー試合が行われた。日本でのサッカーの始まりだと言われている。それからおよそ百年後の今、サッカー発祥の地神戸で再び大きなムーブメントが起きようとしている。昨年十一月「オーレ！KOBE 神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会」が発足。目標せりふリーグ。市民の会のメンバーに熱い想いを語って頂いた。

*オーレ！KOBE 神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会
座談会出席者（敬称略）

会長 皆木 吉泰	～神戸市医師会 会長～
副会長 河本 春男	～株式会社 ユーハイム 会長～
副会長、常任理事兼社 益子 和久	～益子産婦人科 院長～
常任理事、事務局長兼任 斎藤 紀之	～フリーディレクター～
常任理事 益子 秀久	～三菱神戸病院 整形外科 科長～
理事 植村 孝一	～マック株式会社 代表取締役社長～
理事 メリリアン	～神戸日本チリ協会 会長～
理事 細谷 一郎	～三菱重工業株式会社 大阪支社 地域開発プロジェクト部 営業担当課長～
運営委員 吉田 耕治	～株式会社吉田カメラ 代表取締役副社長～
運営委員 井筒 久夫	～いづ印刷有限会社 代表取締役～
岡部 國雄	～神戸市西部土木事務所～

益子和久は、神戸にプロサッカーチームが欲しいと皆が思っていたのですが、なかなかできない。おそらく神戸であればいつかはできるだろうと考えている間にここまでてしましました（笑）。いまさら遅いかもしれないけれど、やはり市民活動的なものを繰り広げないと、でき上がりがないんじゃないかということでの「神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会」が発足しました。

皆木もともとの発想は今はもう亡くなられましたが、神戸フットボールクラブ（KFC）をつくられた加藤正信さんが、神戸にプロサッカーチームをつくろうと言われてましてね。ちょうど東京オリンピックの頃で、その当時はまだJリーグの発想もない頃でした。宮崎前市長も和田岬に子供のサッカーグラウンドをつくってくださるとおっしゃっていました。実現はしませんでしたが、宮崎前市長もそういうお考えでした。結局その当時は具体的に強くて看板となるようなチームはできませんでした。が、加藤さんはその当時からヨーロッパのスポーツクラブを理想とされていました。その点で神戸では随分前から種はまかれていたと言えます。

河本 さらに神戸のサッカー史をさかのぼりますと私は



▲植村孝一さん
長田高校、阪大サッカーチーム出身。東芝では社会人サッカーを。現在はマックエルフ所属。



▲益子秀久さん
神戸ドクターズ所属。
神戸市サッカー協会の医事委員長。スポーツ医学でドイツに留学。



▲斎藤紀之さん
岡山市生まれ。高校時代は同県少年選抜のメンバーで国体に出場。



▲益子和久さん
灘高、神大医学部サッカーチーム出身。神戸市の医師のサッカーチーム神戸ドクターズ所属。



▲河本春男さん
東京高師サッカーチーム主将。神戸一中監督時代に全国優勝。神戸市サッカー協会会長。



▲皆木吉泰さん
神戸一中サッカーチームで全国大会2回優勝。
KFC役員。KFCベテランズのメンバー。



▲井筒久夫さん
KFC創設者の加藤正信氏を通して、サッカートークのつきあいが始まり、運営委員会に。



▲岡部國雄さん
神戸つじが丘ファミリーサッカー主宰。神戸市サッカー協会少年委員。



▲吉田耕治さん
甲南高校、大学サッカーチーム主将を務める。
県学生の選抜メンバーオーディションチームに所属。



▲細谷一郎さん
神戸高校、早稲田大学サッカーチーム出身。三菱(現浦和レッズ)時代には日本代表で活躍。



▲善本光広さん
サッカー歴は小学生時のみ。昨年のワールドカップ予選を見て感動し、同会に入会した。



▲メリヤンさん
夫婦で南米チリレストラン経営。ペレやマラドーナも来店。同会事務局は同店内にある。

学校を卒業してすぐに神戸一中に赴任したのですが、「神戸一中のサッカーを強くして欲しい」と言われて行きましたね。それで全国大会で優勝させてやろうと思ってね、盛んにやったわけ。そしたらなんとその年に全国大会で優勝したのです。昭和七年から十四年の七年間で、四回優勝しました。その中からベルリンオリンピックへ何人か行ったりもしました。そんなことから、サッカー王国兵庫と言われるようになつて、兵庫にサッカーが普及し、盛んになった。以来ずっと神戸のサッカーに関係しているのですが、私自身中学の時からサッカーをやって今日までサッカーとの関係が切れませんから、サッカー人間なのですね。神戸にはサッカーの素地は充分にあるのですよ。ところが困ったことに強いチームがない。そこでなんとか神戸にプロのサッカーチームをつくろうとしているというわけです。

益子和 やはり誰かが中心になってやらないといけないということでお、医者を中心とし、会長を皆木先生にお願いして、市民の会を発足させました。Jリーグの理念としては、プロサッカーチームを頂点に市民がいろんなスポーツができるようなクラブ組織づくりがあるわけです。が、できることなら我々医師が積極的にスポーツと健康を考え、将来を荷担する青少年に正しいスポーツのあり方を指導できるような施設をつくりたいのです。これは他都市ではない、神戸ならではのひとつつのビジョンだと思います。十年、二十年経ってもその理念を追求してほしいということを市長にもお話しをおきました。ただ単にJリーグチームをつくるだけで騒いでいるのではないかということをご理解頂きたいと思います。

★サッカー少年に夢を

細谷 僕は日本リーグでサッカーをしていましたが、神戸では全日本代表も少ないですし、自分が神戸に帰ってきたのも何かの縁だし、ぜひ神戸で強いチームをつくりたいと思って市民の会に参加しました。自分を育ててくれた神戸ですが、少年サッカーの選手数は全国でもトップ

プクラスを誇っています。その子供達に夢を与えてあげたいのです。現状では、実際神戸でサッカーをやっている子も、県外に野球のよう留学したりして流出しています。もし、神戸に魅力のあるチームがあれば、必ず神戸に残ってチームに入つてやつていくと思います。

岡部 私はずっと少年サッカーのお世話をできましたし、息子もサッカーをしていました関係で、永島選手や和田選手の神戸での活躍をよく知っています。

善本 今の子供達がサッカーがうまくなければ、プロになります。そして神戸市民が応援してくれる頂点に立てるのだという希望があれば、とてものびのびと楽しくプレーができ、もっと技術も上がるのではないか。うまい選手が他へ出でてしまうのはさびしいですね。野球と違うところはホームタウン制だということです。神戸で育った選手が神戸のチームで活躍する。神戸市民の応援でがんばった選手がワールドカップに出たりしたら、これほど嬉しいことはないのではないか。

植村 僕はたまたまサッカーをしていましたが、今はも

うできません。もし神戸にプロサッカーチームができるば、自分がやれなかつた夢をたくす人間もいるでしょう。サッカーが好きになつて応援するだけでもいいし、自分自身がJリーグで活躍してやろうとか、いろいろあつていんじやないですか。途中で断念せざるを得ない人間の方が多いと思うけど、それはそれでがんばつて新たな道を選んでいけるのだし、そんな人間がいてもいいと思いますよ。サッカーというのは世界でこれだけ人気のあるスポーツですからね。それにサッカーはチームプレイでしよう。確かにスタープレイヤーも必要だけど、試合に勝つにはチームの輪がとれていての話だから、人間関係とかチームプレイとかスポーツマン精神とか、いろいろな面で勉強になりますよ。社会に出てからも僕達はとても役立つっています。プロのサッカーチームができるれば、目標ができるし、いいと思いますよ。神戸にはいくらでも人材がいるのだから、受け皿がないと他へ出でいくしかないわけです。それにグランドなどもユニア記念競技場や中央球技場など、神戸市は割と先行してくれていますし、設備的にはとても恵まれているのですから、この機会にぜひ、みんなで受け皿をつくつてあげたいですね。

皆木 神戸のグランドの芝生は定評があつて、イギリスのチームが来た時なんかは国立競技場が神戸と指名したほどです。他は危ないと言つてね。それだけ良かつたのです。技術は持つていていますよ。

★神戸のスポーツ文化の振興を

益子秀 どういう風なチームのつくり方をするのかが一番難しいですね。我々の目標とすれば、いわゆるヨーロッパ型のスポーツクラブです。私はドイツのケルンに三年間住んでいたのですが、ケルンでは市民のほとんどがスポーツクラブに入つていました。いくらかの安いお金を払うと加入できるのですが、サッカー、ハンドボール、ホッケー、バレー、ボルなど、様々なスポーツが楽しめます。さらにたとえばサッカーですと、Aから



右上／昨年12月5日に行われた発会式。左上／発会式の後、懇親会が開かれた。ラテン音楽を披露する、神戸日本チリ協会会長ダゴベルト・メリヤン・ハラさん。下／オーレ／KOBE 220大作戦(街頭署名運動)の作戦会議風景。

Kぐらいまで八つぐらいのチームに分かれています。それぞれその人のレベルによってどこかのチームに所属します。その中でトップレベルの選手はアマチュアでもかまわないが、サッカーだけをやりたいという、サッカーのうまい人たちがプロになるのです。プロ野球のようなプロのサッカーチームをつくるのではなく、プロサッカーチームを頂点にして様々な市民スポーツが振興するようなクラブをつくりたいのです。

細谷 Jリーグチアマンの川淵さんがおっしゃっているのは、その地域に密着してそのスポーツを文化として発展させて地域を活性化するということです。昨年一年間Jリーグは経済的効果ばかり、ビジネスとしてとらえられすぎていると僕らはずっと感じてきました。神戸ではビジネスももちろん大事ですが、要は十年、二十年という街づくりとしてとらえていきたい。市民が生涯スポーツとして参加でき、試合のある時は家族で応援する。試合のない時は家族でスポーツ施設へ行って、おねえちゃん



2月20日(日)、市民の会の街頭署名運動、「オーレ!/KOBE 220大作戦」が三宮センター街、元町商店街、JR住吉周辺、名谷・須磨パティオ、西神中央・ブレンディーで行われた。目標、ボランティア動員220名、署名獲得数22000名分を大幅にクリアした。署名は3月末までに20万人分を集め、神戸市長へ提出する。

やんは水泳をし、おにいちゃんはサッカーをやっています。夫婦はテニスをしているとかね。みんなで汗をかいり、夜、食事をして帰るというふうに、家族、地域の社交クラブなわけです。男性だけがいく高級な会員制クラブというのではなくね。神戸ならできると思います。

斎藤

神戸市はスポーツ都市宣言をしていましたが、

プロのサッカーチームを起爆剤として、市民スポーツを振興させていきたいですね。たとえばサッカーチームのユニフォームのカラーがあれば、それと同じ色で、バレー・ボルムもバスケットも体操もユニフォームをつくる。そういう神戸市全体の市民のスポーツのトップがプロのチームであるという考え方です。それと今、神戸の中にいろいろなスポーツ施設をつくっていますね。市の中では土木、教育公社、下水道公社とばらばらに管理しています。これらをたとえば「財団法人神戸スポーツマンクラブ」のようなものを、トップのプロの収益と地元の企業と神戸市でつくって、安いお金で市民がこういったスポーツ施設を使い、スポーツのできる環境をつけてもらいたいと思います。プロのチームをつくることによって、アマチュアのスポーツも振興させていきたいのです。

★市民参加のおらがチームを

細谷 今のJリーグ十二チームを見ていますが、日本リーグがもともと企業スポーツですから、そこから発展したJリーグのチームはほとんどメインの企業があるわけです。全く一からつくったのは清水エスパルスぐらいです。清水というところはもともとサッカーの盛んな地盤があって、市民の持ち株が半分ぐらいをしめるという会社をつくっています。我々もそういった市民参加のチームをつくり、そして小学生から選手を育ててい

て、神戸で育った選手が神戸のトップのプロチームに入れるというふうな形がいいですね。当面は外の力を借りないとできないでしようが、ゆくゆくはできると思います。

植村 初めからJリーグで活躍できるチームというのはどこからかよっぽどお金を集めないとダメでしょうけど、徐々に今の中学生ぐらいの子がJリーグを目指してがんばって、二十歳を過ぎた頃にJリーグの中でやれるぐらいが一番いいのだけど、母体となるチームは今年つくっておかないと間に合わないですから。

★署名に参加して大きなムーブメントを起こそう!

益子和 我々の方針とすればチームが決まるか決まらないかで今後の方針が大きく変わりますが、現時点ではチームが決まるか決まらないかの瀬戸際だと思っていま

細谷 僕はサッカー協会の役員もしていますが、市民の会でチームまで決めるのは非常に難しいと思います。そこで、行政ができること、サッカー協会ができること、市民の会ができる 것을役割分担して進めていく必要があります。市民の会としては「みんなで神戸のサッカーチームを応援しよう!」という大きなムーブメントをしていくことが大切です。おらがまちのチームをつくるという流れをつくることですね。そしてチームができれば、もっといろいろにお手伝いすることができてると思います。

益子 我々としてはプロサッカーチームをつくってぜひJリーグに入りたいと思っているわけです。まず、当然チームがあって、出資金があって、会社組織が成り立ちます。Jリーグに入ろうと思うと、法人化された、ちゃんとしたチームがあって、その中にはプロのメンバーが二十人位いる、球技場がしっかりとしている、サポート、応援などの運営がしっかりとしているといったすべての条件が整った時点、または整うという予想のもとにJリーグに入るための準加盟申請をするわけです。その

締め切りが今年の九月三十日です。準加盟申請が受けられてもいきなりJリーグチームに入れないのですが、カープ戦といつてトーナメントに入れてもらいます。そこでいい成績を残すことと、Jリーグの下のリーグ、JFL(ジャンパンフットボールリーグ)にいるときも好成績を残すことがJリーグに入るための条件なのです。現在、準加盟申請が認められているのが、柏レイソルとセレッソ大阪、参加表明したのが京都パープルサンガとPJM(フェューチャーズ)です。今年よりJリーグはジュビロ磐田とベルマーレ平塚が昇格して十二チームになります。Jリーグは当面十六チームまで増やす予定なので、あと残りの枠は四チームですが、現状の準加盟二チーム(柏、大阪)が順当に昇格するとすれば、残り二つの席を争うことになります。今年九月までに準加盟申請をするためには一刻も早くチームを決定し、六月には法人化しなければならないというのが現状です。そこで市民の会としては今は署名作戦に燃えています。私も署名しました!僕もした!ということでお手伝いするためには一刻も早くチームを決めて、二月二〇日には「オーレ!KOB E 220大作戦」を行います。ボランティア参加人員二二〇名、署名数二万二千を目標に市内五カ所で、みんなで街頭に立とうということになっています。各地の商店街にもご協力頂いています。

吉田 私の立場とすれば、商店街(元町)を盛り上げて引っ張っていくことだと思います。商店街(元町)にとってメリットがあるとかということではなく、郷土愛しかないと思うのです。まず元町一番街という単位で結束していきたい。そして、元町全体、三宮、神戸市全体の商店街に広めていきたいですね。商店街同士が、神戸のサッカーチームを応援するという一つの目的を持つて、いい機会ではないかと思っています。

益子和 市民の会は企業を中心に片寄らないために企業の協賛もほとんど頂いていません。会員の方から一人千円

の年会費を頂いているのと、わずかな賛同金を頂いているのとで運営しています。全国にいろいろな市民の会がありますが、運営費を市やどこの企業が出している場合がほとんどです。我々のように市民の会費によって運営しているところはほとんどありません。会則まであるのですよ。署名は今まで市民が集めたものにさらに我々市民の会で集めたものをプラスし、なんらかの形で神戸市にアピールしていきたいと思っています。

★神戸の熱いサッカーファンたち

メリヤン 私の主人は南米のチリ人なので、サッカーがもう大好きでして、ラテンレストランをしていますので、サッカーの試合があつた時にペレやベッケンバウアー、マラドーナなどを招待し、とても楽しいひとときを過ごしたりして、私もすっかりサッカーファンになりました。子供もサッカーをしていますし、私の父も九十歳なのですが、サッカーが大好きで、この市民の会に入っています。神戸にチームができる、一日でも早く応援したいというのが父の夢で、私も少しでもお手伝いできた



南米チリレストラン「グラン・ミカエラ・イ・ダコ」を訪れた、サッカーの神様、ペレ(1976年)。左端の帽子をかぶった人がダゴベルトさん。現在、同店内に「オーレ! KOBE 神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会」の事務局があり、市民の会のピッグウェイブをおこしている。

らしいのになと思っています。昨年の十二月には主人と斎藤君でバラグアイまで南米サッカー協会会長に会いに行ってきました。「神戸にもあれだけいいグランドがあるのだから、できることがあれば応援しますよ」と言つてくださいました。

井筒 私は亡くなられた加藤さんとPTAの会長をされていた頃からのおつきあいで、少年サッカーの普及の為の中国友好訪問にも連れて行ってくださいましたし、加藤さんの情熱でサッカーが好きになりました。「わしの目の黒いうちにプロサッカーチームができるやろか」という言葉が今でも耳に残っています。Jリーグができた時に「加藤さんがいたら良かつたのに」と思いました。無駄かもしれないが、やるだけやってみたら、少しでも加藤さんのためになるのではと思ってがんばります。

岡部 私も少年サッカーをお世話していて、子供達が一生懸命するので、彼らのためにもぜひ協力したいです。

善本 僕はサッカーをしていたのは小学校の時だけだったのですが、この市民の会に入つて、皆さん今までサッカーが人生だという人ばかりでその情熱に圧倒されたのですが、入つた以上は皆さんに負けないよう、がんばって仕事をしていきたいですね。

斎藤 私も第二のふるさと神戸で、大好きな神戸のためにお手伝いがしたいのです。

益子秀 家内も三人の子供達もJリーグで他のチームを応援していますが、私はどこも応援していません。よその中を応援しても仕方がない。心から応援できるチームはやはり地元神戸のチームしかない。その日が一日でも早く来るようがんばりたいと思います。

(二月十三日神戸市北野地域福祉センターにて)

■オーレ! KOBEに入会ご希望の方、署名活動に協力してみようという方は左記までお問い合わせください。神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会・事務局
神戸市中央区中山手通二一七一一二

△その172△

モダン寺の破壊を見て 武田 則明

（建築家）

武田

則明

地域文化論

淨土真宗は親鸞により鎌倉時代に開かれた。天台宗や真言宗や禅宗の様に貴族や武家社会に信徒を持つよりも、広く庶民の支持を得た。信長と最後まで戦った一向一揆は時の権力に対する門徒農民の壮絶な戦いであり、革命であったと思う。権力の弾圧に生き残り、今日まで浄土真宗が生き残ったのは日本固有の土着信仰である神道の中に生きている祖先崇拜が家族制度の確立とともに仏教に取り込まれて行ったことと、宗門自体が支配権力へすり寄って行つたことが上げられよう。



破壊されたモダン寺

人間は不完全な存在である。間違いだらけである。この意味で宗教団体も間違つてゐる。自分の信じているものは絶対であり、その宗教は絶対であり、それを信じない者は地獄に落ちるとの考えは間違つてゐる。証拠に人間の平和と幸福を願う宗教対立が醜い戦争をしている。一番弱い老人や子供が傷ついている。信ずるものは絶対でも良

いが、それを信じる人間集団は絶対ではなく、間違いを繰返すといふ謙虚な精神が必要だとと思う。謙虚さこそが人間の惱をいやし、やさしさを育むものだと思う。戦争をしている人間はやさしさも謙虚さも欠ける傲慢な人間だと思う。

淨土真宗は明治八年に文明開化の神戸、山本通りに説教所を作つた。これは後に別院となつた。本堂の屋根は日本瓦葺入母屋造りの寺院のつくりで軒から下がギリシヤオーダーの異形の建築であつた。まさに和魂洋才を地で行くスタイルであつた。神戸開港とともに歐米の文化、芸術、宗教が上陸して來た。一方明治国家は國家神道を確立し排仏毀釈の嵐が吹き荒れていた。こんな時に新取の精神

我が国固有の建築はいかにあるべきやと模索された時代であつた。この固有性やらしさの追求は極端に走ると国粹主義に繋つてゐるものである。固有性を追求したボストモダニズムが、ネオナチや、極右勢力をロシヤや独、イタリーに生んだごとくである。まさに日本の歴史もその様に流れて行つた。

二つの時代を表現するエポックな建築物を宗門は破壊した。大西洋戦争中、国家の先棒をかついで国民を戦場へと送つた責任を、あるいは国粹主義に走つた証人としてのモダン寺本堂を抹殺してしまったかったのだろうか。



BEFORE

若い
までも
美しく



AFTER

★わずか2時間の10歳若返り法

誰でも年をとると、シワやタルミが気になります。なかでも、顔全体の皮膚のタルミ、年を感じさせる目の周りのシワは、老けた印象を与える原因になります。でも、こんな悩みも画期的な「若返り法」の手術で安全に解決。顔全体に張りをもたせることで5~10歳も若返ります。また、目の周り、特に気になる目の下のシワやタルミも安全な方法で取り除きます。厚ぼったいまぶたも、二重瞼にしてスッキリ。ホクロやシミも解消致します。

△若返り法60万円、目の下のタルミ取り20万円、二重術12万円、コラーゲン注入1回4万円～。

★たれたバストも

バストが下がってきて、若々しさがなくなってきたという方は「バストアップ法」で形を整えます。

乳輪・乳頭の縮小も一緒にできます

△バストアップ法60万円。

※表示金額以外、費用は一切かかりません。

PRESENT

美容整形に関しての最新情報を満載した本「スーパー美容術のすべて—美しさ自由自在」(品川美容外科監修)を抽選でプレゼント。ご希望の方はハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を書いて下記の宛先までお送り下さい。

〒108 東京都港区港南2-6-3 新富ビル3F

ピューティークラブ「スーパー美容術のすべて」

プレゼント 神戸っ子係まで

24時間無料テープ案内

☎ 0120-006477

有 品川美容外科形成外科
☎ 078(331)7183<女性>
☎ 078(331)4102<男性>

診療時間／AM10:00~PM7:00(年中無休)

*各種クレジットカード・ローン可

大阪 06(312)1420<女性> 京都 075(344)3386<女性>



神戸市中央区三宮町
1-3-3 小林ビル6F

新しい門出にお二人の感謝の心を
この銘菓に託して



丹念に焼き上げた伝統的洋菓子に
ありがとうの願いを込め

“スイートカップル”

¥ 1500



株式
会社

ユーハイム・コンフェクト

本 社 〒651-21 神戸市西区北別府2-1-2

TEL.(078)974-9756 FAX(078)974-9758

大阪営業所 〒558 大阪市住吉区刈田町7丁目12-19

TEL.(06)697-9435 FAX(06)697-4188

東京・名古屋・大阪・神戸



4th Kobecco

都市経営に 抜群のセンス 宮崎辰雄に

★ 福祉行政に信念

D この神戸っ子賞で考えることの、地元出身者で、全国的に、インターナショナルに影響を広げた人という面からみても、本当に様々な人材がいますね。

C 宮崎辰雄なども、そういう意味合いから、都市経営で発揮した発想、手腕といふものは、影響が正に全国的、そして国際的に大変高い評価がありますね。

B 事業展開の仕方が、民間の経営を上回る優れたアイディアである、都市の経営の手本だと。

A 福祉行政についても、はつきりした信念の下、市政の最重要施策の一つと位置づけ、「福祉都市づくり」を推し進めました。

C そういった中で生まれた「しあわせの村」も、福祉都市・神戸の象徴の一つ。総合福祉ゾーンとして、その規模、施設の多彩さは一つの都市とも言えるのですね。

★ 文化勲章の東山魁夷

B 東山魁夷も神戸ですね。二中です。小磯良平より先に、60歳で文化勲章も受けましたね。ところが神戸が遠慮しているのかどうか、対応できていない、アピールが少ないですね。小学校、中学校が神戸だというのは大きいですよ。神戸の風土が画風に見られますね。

A これまでの受賞者、淀川長治、朝比奈隆、陳舜臣、それぞれ正に神戸の雰囲気を持つていますね。**C** 画家ではないが、昨年市の文化活動功労賞を受けた元町画廊の佐藤廉、長年に亘る新人发掘、育成の功績は実に大きい。本当に多くの素晴らしいアーティスト達を



小泉 康夫
<月刊神戸っ子
代表取締役社長>



石阪 春生さん
<画家>



小笠原 晓さん
<芦屋大学教授>



米花 稔さん
<福山大学教授>

● 選考委員 ●

サポートしてきた。

D 芸術の分野で言えば、小原豊

雲の業績はしっかりとしたもの、組織力が大したものですね。

C 成瀬香梅、西村雲華なども小原流から出て活躍しています。

D 女性の名前が出たところで言うと、田中千代。ファンションの世界でも一番早い時代からの活躍です。

A 今のが太后さんの服をずっとやっています。

C ヴァイオリンの辻久子、今県の教育委員も務めています。

D 書では望月美佐が活躍していますね。

★圧倒的な内功の存在

B 文学で言えば、昨年絶筆宣言をした筒井康隆がいますね。

A 今のが太后さんの服をずっとやっています。

C 成瀬香梅、西村雲華なども小原流から出て活躍しています。

D 女性の名前が出たところで言うと、田中千代。ファンションの世界でも一番早い時代からの活躍です。

A 今のが太后さんの服をずっとやっています。

C ヴァイオリンの辻久子、今県の教育委員も務めています。

D 書では望月美佐が活躍していますね。

★圧倒的な内功の存在

B 文学で言えば、昨年絶筆宣言をした筒井康隆がいますね。

A 今のが太后さんの服をずっとやっています。

C 成瀬香梅、西村雲華なども小原流から出て活躍しています。

D 女性の名前が出たところで言うと、田中千代。ファンションの世界でも一番早い時代からの活躍です。

A 今のが太后さんの服をずっとやっています。

C ヴァイオリンの辻久子、今県の教育委員も務めています。

D 書では望月美佐が活躍していますね。

★圧倒的な内功の存在

B 文学で言えば、昨年絶筆宣言をした筒井康隆がいますね。

A 今のが太后さんの服をずっとやっています。

C 成瀬香梅、西村雲華なども小原流から出て活躍しています。

D 女性の名前が出たところで言うと、田中千代。ファンションの世界でも一番早い時代からの活躍です。

A 野坂昭如もいる。「火垂るの墓」も神戸を舞台にした実体験を描いたものですね。

C 芸能界で言うと、桂米朝。立派なCDの全集を出した。あれは随分大きな仕事だと思いますね。

A 高島忠夫夫妻の雰囲気、あれも神戸のものでしょうね。

C 宝塚出身は多く活躍していますが、鳳蘭は大したもの、華があつて実にいいですね。

D ちょっとと違った分野ですが、吉兆の湯木貞一も神戸、花隈の出身ですよ。従来の日本料理にハイカラさをうまく取り入れた。日本料理の為の陶芸館を作つて、和食器を收集したりもしています。

B 外国人では、教会音楽、食文化などに造詣の深い神父、ジャン・メ

ルオー。外国人クラブ理事長のP.

A カンバネラなどもいますね。

C コスマポリタンのバレンタイ

ン・F・モロゾフ夫妻も元気でがんばっている。

B 実業界では、やはり内功の名前が出ますね。三中ですね。

C 石野信一も三中、宮崎辰雄と同期です。

A 神戸はやはり文化人が多いんですね。

D まあ、これからでしょうか。

A 神戸はオーナー社長が少ない酒屋さんにはたくさんいる。

B 伝統産業にはいるが、近代産業には少ないのでですかね。

C まあ、これからでしょうか。

D 田崎俊作が企業メセナをよくやっています。

A 明治の初め、人口わずか2万5千であった神戸が、実に多士済々に人材を出してきている。たのもしいですし、益々楽しみですね。

C スポーツ界もたのもしいもんですよ。神戸製鋼ラグビー部が今年も勝つて6年連続日本一。オリ

D 色々な分野で多くの候補が出ましたが、今年は宮崎辰雄ということになりますね。機も熟しまし

A そうですね。全員一致で賛成。

△文中敬称略

■歴代受賞者

1. 淀川長治／映画評論家

2. 朝比奈隆／指揮者
3. 陳舜臣／作家



著書の数々